

多様な選択を可能にする能力開発・生涯学習施策に関する
監視・影響調査報告書
<目次案>

はじめに

- ・平成16年に専門調査会が整理・統合され、監視・影響調査を一体的に行う「監視・影響調査専門調査会」を設置。
- ・社会経済を取り巻く環境が変化する中で、子育てや地域活動、起業等、働き方を含め女性の生涯を通じた様々な選択は多様化している。昨今では再チャレンジのための取組の重要性や若年層の女性正社員割合の減少が指摘されるなど、多様な人材の能力発揮は社会経済の発展にも寄与する重要な課題と認識。しかし、現状では、能力開発機会に男女間で格差が存在しており、効果的な能力開発の実施により、更なる女性の能力発揮が期待される。こうした状況の下、今般、女性の多様な選択を可能にする能力開発・生涯学習施策について監視・影響調査を実施。
- ・監視・影響調査において、国等の行う施策の実施状況を重点的に監視し、施策の今後の取組を提示。その際、能力開発や生涯学習は、国や地方公共団体に加えNPOや民間企業など多様な主体により実施されており、これらの多様な主体との連携は施策を考えるに当たり必要不可欠な視点であることに留意。また、雇用形態等によらず多様な選択を可能にするための施策を取り巻く制度・環境整備なども視野に入れる。なお、必要に応じ事例紹介等を交えることとする。

女性の多様な選択をめぐる現状と課題

1 女性の多様な選択をめぐる現状

- ・女性がライフステージに応じて多様な選択を採ることは困難で、高い就労・能力開発意欲と現実の隔たりが大きく、将来展望が描きにくい状況。

2 女性の多様な選択をめぐる課題

- ・女性のライフステージに応じた多様な選択を支援する一環として、能力開発・生涯学習施策の充実が課題。

能力開発・生涯学習施策の現状と課題

1 能力開発・生涯学習施策の現状

- ・女性の多様な選択について明示的に考えた取組みの不足、関係機関の役割分担や連携の不足等の問題がある。

2 能力開発・生涯学習施策の課題

- ・ 多様な主体との連携も視野に入れ、男女別データの整備、関係主体の連携促進、評価システムの構築等に取り組むべき。

今後の取組に向けて

1 多様な選択を可能にする能力開発・生涯学習の在り方・課題

- ・ 誰でもいつでもどこでも能力開発・生涯学習に参加できる参加保障の体制を作るという考え方を基本とし、多様な選択を可能にする能力開発・生涯学習の在り方・課題について、施策の内容、進め方、施策を取り巻く制度・環境整備という観点に基づき整理。

2 多様な選択を可能にするための能力開発・生涯学習施策の今後の取組

- ・ 多様な選択を可能にするために、関係府省に対し 女性のライフステージごとのニーズに即した内容の施策の実施、 施策を効率的に進めるための取組を求めるほか、 施策を取り巻く制度・環境整備に関する取組を提示。

(1) 女性のライフステージごとのニーズに即した能力開発・生涯学習施策

(2) 施策をより効果的に実施していくための取組

(3) 施策を取り巻く制度・環境整備